

平成30年（2018年）11月22日

基盤教育改革 スタートアップセミナーについて

【本件のポイント】

- 大学生に必要な4つの技術（情報収集、グループワーク、プレゼンテーション、レポート作成）を身につけるため実施
- 受講者アンケートの結果からは、すべての項目で前年度を上回る結果が得られ、学びの型を身につけるといふスタートアップセミナー本来の目的を達成しつつある



【概要】

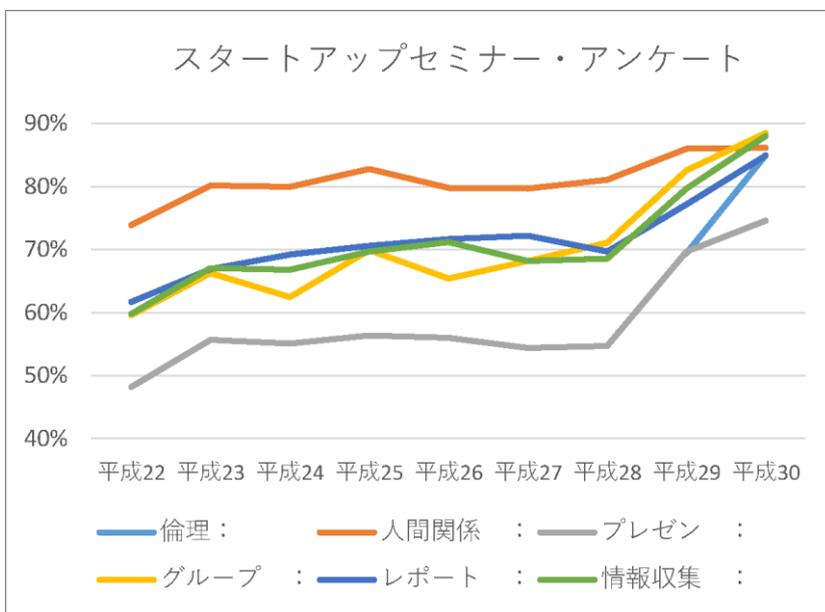
山形大学では、1年次の基盤共通教育において、大学生に必要な4つの技術（情報収集、グループワーク、プレゼンテーション、レポート作成）を身につけるため、「スタートアップセミナー」を実施しています。この科目は、3年一貫の学士課程基盤教育改革^(※1)の一環として、平成29年度から見直しを行っており、総合大学としての強みを活かし、全学部混合型のクラス編成とすること、共通の教材と課題を開発し授業の均質化を図るなどしています。

本授業に対する平成30年度受講者アンケートの結果、すべての項目で前年度を上回る結果が得られ、学びの型を身につけるといふスタートアップセミナー本来の目的を達成しつつあると評価出来ます。

この取り組みは米国の学会で高く評価され、現在までに3度、海外での口頭発表を実施しています。^(※2)発表資料はOIREwebサイトよりご覧ください。（<https://ir.yamagata-u.ac.jp/>）

【平成30年度スタートアップセミナー・アンケート結果（肯定的回答の割合）】

アンケート（履修登録者1765人中1481人が回答。回答率83.9%）では、全項目で昨年度を上回りました。上昇幅を見ると図書館ツアー必修化の効果により「情報収集」が+8.3ポイント伸びています。他に昨年度の重点改善目標であった「プレゼン」と「レポート」もそれぞれ+4.9、+7.7ポイント伸びています。倫理について考える機会（+15.6ポイント）及びグループワーク（+5.9ポイント）が伸びているのは、2年目に入り担当教員間でスタートアップセミナーが担う内容についての理解が進行したことによるものと考えられます。「プレゼンテーション」についてまだ改善の余地がありますが、アンケート結果から、学びの型を身につけるといふスタートアップセミナー本来の目的を達成しつつあると評価出来ます。



来年度の改善に向けては、平成29年度からの重点目標であったプレゼンテーションについての学びを更に伸ばしていくこと、また、FDにより導入科目の理念や実施の必要性について教員間で意識を高めていきたいと考えています。

お問い合わせ

学術研究院准教授（基盤教育担当）橋爪孝夫
TEL 023-628-4487 メール hasidume@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp
学術研究院教授（基盤教育担当）千代勝実
TEL 023-628-4973 メール senyo@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

※用語解説・補足説明

1. 3年一貫の学士課程基盤教育改革：本学では従来の教養教育を改め、カリキュラムの構成要素ごとに、目的・目標に応じた科目群で区分する「基盤教育」を平成22年4月から展開しています。平成29年度からは、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」と「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）」の3つのポリシーに基づいた全学横断の3年一貫学士課程基盤教育として体系化し学士課程教育を再構築する改革を進めています。

2. 海外での発表実績

- ① 「Redesigning the FYE Course at Yamagata University: Our Challenging Journey」 the 37th Annual Conference on The First-Year Experience,2018/02/10
- ② 「The Relations Between Big Five Personality, Class Attendance, and Grades」 AIR Forum 2018,2018/05/30
- ③ 「Using a Smartphone-Based Integrated Data Collection System to Measure Student Learning Gains」 The 2018 Assessment Institute in Indianapolis,2018/10/22)